

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 10 月 26 日 (2006.10.26)

【公表番号】特表 2006-504635 (P2006-504635A)

【公表日】平成 18 年 2 月 9 日 (2006.2.9)

【年通号数】公開・登録公報 2006-006

【出願番号】特願 2004-506367 (P2004-506367)

【国際特許分類】

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 K 9/08 (2006.01)

A 6 1 K 9/10 (2006.01)

A 6 1 K 9/14 (2006.01)

A 6 1 K 47/24 (2006.01)

A 6 1 P 11/00 (2006.01)

C 0 7 K 7/08 (2006.01)

C 0 7 K 14/785 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 37/02 Z N A

A 6 1 K 9/08

A 6 1 K 9/10

A 6 1 K 9/14

A 6 1 K 47/24

A 6 1 P 11/00

C 0 7 K 7/08

C 0 7 K 14/785

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 5 月 9 日 (2006.5.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

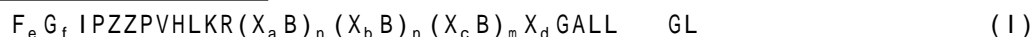
【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

人工ペプチドおよびリン脂質混合物からなる再構成サーファクタントであって、人工ペプチドが式 (I)



[式中、

X は、I、L、および n L (ノルロイシン) からなる群から選択されるアミノ酸であり；

B は、K、W、F、Y、およびオルニチンからなる群から選択されるアミノ酸であり、

Z は、エステル結合を介して側鎖に連結された 12 ~ 22 個の炭素原子を含むアシル基で場合により置換されていてもよい S であり；

は、M、I、L、n L からなる群から選択されるアミノ酸であり；

a は、1 ~ 19 の整数であり；

b は、1 ~ 19 の整数であり；

c は、1 ~ 21 の整数であり；

d は、0 ~ 20 の整数であり；

e は、0 または 1 であり；

f は、0 または 1 であり；

n は、0 または 1 であり；

m は、0 または 1 であり、

$n + m > 0$ ； $f > e$ 、そして $(X_a B)_n (X_b B)_n (X_c B)_m X_d$ は最大 22 個のアミノ酸を有する配列である]

で表される S P - C 類似体であり、かつ、

リン脂質混合物が、重量比で 80 : 20 ~ 60 : 40 の範囲にある、ジパルミトイルホスファチジルコリン (D P P C) とパルミトイルオレイルホスファチジルグリセロール (P O P G) から選択されるパルミトイルオレイルリン脂質からなるか、またはそれらの混合物とパルミトイルオレイルホスファチジルコリン (P O P C) とからなる再構成サーファクタント。

【請求項 2】

配列 $(X_a B)_n (X_b B)_n (X_c B)_m X_d$ が、10 ~ 22 個のアミノ酸を有する配列である、請求項 1 に記載の再構成サーファクタント。

【請求項 3】

人工ペプチドが、式 (I I)：



[式中、

は、M、I、L、および n L からなる群から選択されるアミノ酸である]

で表される請求項 1 または 2 に記載の再構成サーファクタント。

【請求項 4】

人工ペプチドが、式



で表される S P - C 33 である請求項 3 に記載の再構成サーファクタント。

【請求項 5】

人工ペプチドが、重量比で 75 : 25 ~ 65 : 35 の範囲にある P P C および P O P G からなるリン脂質の混合物と組み合わせさせている請求項 1 ないし 4 のいずれか一項に記載の再構成サーファクタント。

【請求項 6】

人工ペプチドが、重量比で 68 : 31 にある P P C および P O P G からなるリン脂質の混合物と組み合わせさせている請求項 5 に記載の再構成サーファクタント。

【請求項 7】

人工ペプチドが、重量比で 60 : 20 : 20 ~ 68 : 15 : 16 の範囲にある D P P C、P O P G および P O P C からなるリン脂質の混合物と組み合わせさせている請求項 1 ないし 4 のいずれか一項に記載の再構成サーファクタント。

【請求項 8】

請求項 1 ないし 7 に記載のいずれか一項に記載の再構成サーファクタントの調製方法であって、

i) 該人工ペプチドと該リン脂質の溶液または懸濁液を混合する工程、および

i i) こうして得られた混合物を乾燥する工程、を含んでなる方法。

【請求項 9】

溶液、分散物、懸濁液または乾燥粉末状の請求項 1 ないし 7 のいずれか一項に記載の再構成サーファクタント。

【請求項 10】

肺サーファクタント機能不全に関連する疾患の処置用の医薬を製造するための請求項 1 ないし 7 のいずれか一項に記載の再構成サーファクタントの使用。

【請求項 11】

疾患が、呼吸窮迫症候群 (R D S) である請求項 11 に記載の使用。

【手続補正 2】

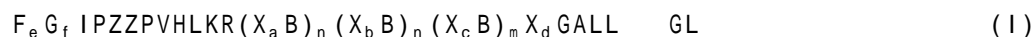
【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】



【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

[式中、

Xは、I、L、nL（ノルロイシン）からなる群から選択されるアミノ酸であり；

Bは、K、W、F、Y、オルニチンからなる群から選択されるアミノ酸であり、

Zは、それぞれ、エステル結合を介して側鎖に連結された12～22個の炭素原子を含むアシル基で場合により置換されていてもよいSであり；

は、M、I、L、nLからなる群から選択されるアミノ酸であり；

aは、1～19の整数であり；

bは、1～19の整数であり；

cは、1～21の整数であり；

dは、0～20の整数であり；

eは、0または1であり；

fは、0または1であり；

nは、0または1であり；

mは、0または1であるが、

ただし以下の

- $n + m > 0$ ；

- $f \geq e$ 、

- $(X_a B)_n (X_b B)_n (X_c B)_m X_d$ は最大22個のアミノ酸、好ましくは10～22個を有する配列である、ことを条件とする]

を有するSP-C類似体の使用である。